

討議年月日: 令和3年 7月 19日

公表年月日: 令和3年 7月 31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1	・別室に分かれ学習を行っている。 ・利用児童が多いときに狭さを感じる事がある。 ・個別支援や学習を行っているときは十分にスペースがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	2	・適切な日もあるがそうでない日もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	6	・一般住宅の事業所の為、バリアフリーではない。 ・玄関の段差が気になる。 ・日没が早い時期は玄関前の点灯が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	1	・提供時間前と後でミーティングを実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	2	・ご意見をいただいた事に対してすぐに結果は出ないが事前に連絡を取り改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	5	・開所以来自己評価が初めての実施である。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	6	・第三者による外部評価は未実施である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	3	・書面や動画で実施しているが、対面での研修は必要と思う。 ・職員間の報連相は出来ているが、対面での研修は出来ていない。 ・オンラインにて外部の研修の機会がある。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10		・書面や動画で実施しているが、対面での研修は必要と思う。 ・職員間の報連相は出来ているが、対面での研修は出来ていない。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2	・ご契約前にアセスメントをとり対応している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10		・集団活動で実施する内容を午前中に立案し午後にミーティングにて職員間で共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10		・毎日違う活動を実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	2	・特に設定していない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	10		・個別での活動(学習)集団での活動を軸として実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10		・活動内容と支援の内容について毎日ミーティングを実施できている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10		・毎日振り返りを実施し、課題点の共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10		・職員間での振り返り時に記録をとっている。 ・サービス記録を毎日記録し、保護者へ連絡袋と一緒に配布している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	3	・職員間での振り返り時に課題があれば見直していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	10		・意識はしていない現状である。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	6	・開所以降、相談支援事業所と会議は未実施である。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10		・すべての学校ではないが、情報の共有が出来る時は情報交換をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	6	・医療的ケアが必要な児童の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	5	・昨年の夏にオープンし、利用児童に就学前の利用がおらず情報共有はない。今後、利用があれば情報共有をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	6	・当事業所をご利用され学校を卒業して障害福祉サービスへの移行した児童はいないので必要な時が来れば情報を提供します。 ・開所1年未満の為、該当者なく実績がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	4	・専門機関との交流はほとんどできていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	8	・交流はとっていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	6	・定期的に参加は出来ていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10		・日々の状況や課題について、サービス記録票や送迎時に保護者へお伝えしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	5	ペアレント・トレーニングは積極的には実施できていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1	・ご契約時に説明をさせていただいているが、自信がない部分がある。不十分な部分に関しては、ご面談時に改めて説明をさせていただく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10		・ご相談を受けたときに対応をする。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	5	・保護者同士の場は特に設けていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10		・適切に対応するよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	4	・会報はないが、日々のサービス記録を毎日配布とブログの更新を定期的に行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	10		・手書きでのメモ書きであってもシュレッダーで廃棄している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	・ショートメールやHUGでのメール等で対応をさせていただいている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	6	・通われている事を知られたくないご家族がいるため積極的な地域交流は行っていない。 ・自治会には加入している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	4	- 把握されていない保護者はいると思われる。 - 職員には周知されている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	3	頻度が不十分と思われる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	4	動画や書面では実施しているが、対面での研修が必要である。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	4	ご契約時に説明をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10		適切に対応させていただいている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	4	- 事例集まで作成は出来ていないが、毎日の支援開始前と振り返りのミーティングを実施し一人ひとりの児童に対して振り返る機会を設けておりヒヤリハット事項の話は出来ており職員間の情報共有をしています。 - その都度記入している。